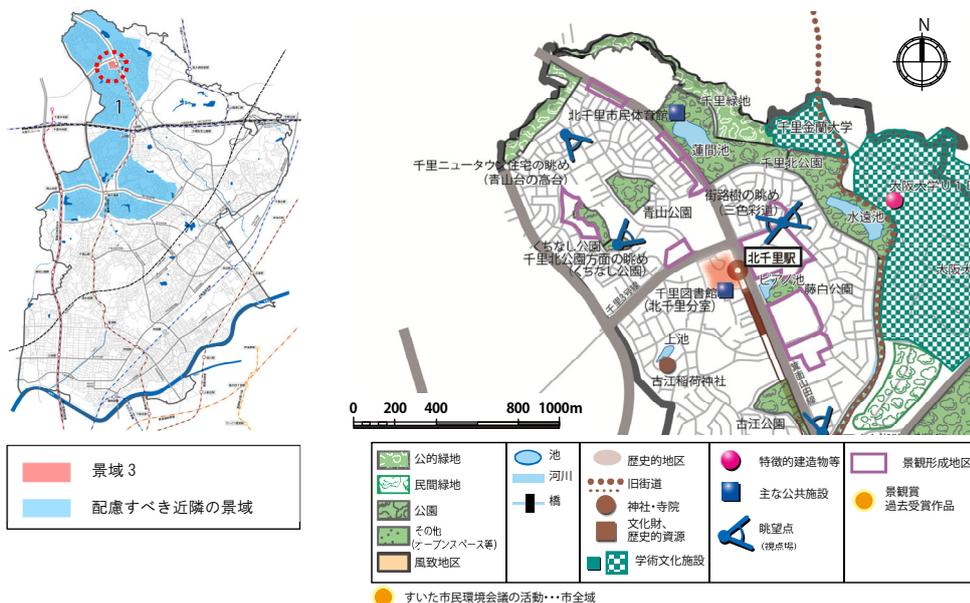


景域3 北千里駅界隈



日常的な便利施設が集積し、豊かな緑が身近にある駅前の景観

地形

丘陵の谷筋に位置しており、高低差を活かしたまちなみの変化を楽しむことができます。

歴史

北千里駅前は千里ニュータウンの計画段階より商業・業務核となる地区センターとして位置付けられており、昭和42年(1967年)に北千里駅および北地区センターが開業し、今日まで発展してきました。

土地利用

商業施設や公共施設などが集積しており、北千里小学校跡地における複合施設の建設や地区センターにおける再開発事業の検討が進められています。

都市活動・暮らし

周辺に大小様々な公園・緑地が整備されており、利便性ととも身近に緑に触れられるまちとなっています。また、徒歩圏に大阪大学や千里金蘭大学が立地し、学生など若者が多く行き交っています。

景観特性



駅前広場



駅前の商業施設

駅前としてのにぎわいを形成し、周辺と調和した落ち着いた落ち着きのある景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 統一感をもたせた千里ニュータウンらしい街路樹による緑化に努める。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさの感じられる駅前の景観づくりに努める。
- 快適に働ける、建物配置などが整った市街地空間づくりに努める。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは駅前広場などの公共空間との一体化などにより、ゆとりのある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、駅前としてのにぎわいの中にも落ち着いた落ち着きのある景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 鉄道施設のデザインの向上などを図り、駅前にふさわしい景観の形成に努める。
- 駅前にふさわしいにぎわいや安らぎを与えられるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 1, 45